



入試問題に

聞き取り問題

挑戦 4

スピーチ

解答

/ 100

- ① 例 自分自身が郷土について深く知ること。

② ア () 正 ・ 誤 ()
 ウ () 正 ・ 誤 ()
 エ () 正 ・ 誤 ()
 イ () 正 ・ 誤 ()

(10点×4)

③ ア () 正 ・ 誤 ()
 ウ () 正 ・ 誤 ()
 エ () 正 ・ 誤 ()
 イ () 正 ・ 誤 ()

(10点×4)

問題文

① このスピーチの中で、発表者は、鹿児島県の魅力を伝えるために何が大切だと述べていましたか。解答欄に適切な言葉を書きなさい。

② これから読み上げるア～エの中に、スピーチの内容と合っていないものがあります。スピーチの内容と合っているものには、解答欄の「正」に○印を、合っていないものには、解答欄の「誤」に○印をつけなさい。なお、ア～エは繰り返し放送します。

ア 黒豚や黒牛などといった特産品や個性豊かな自然以外にも、鹿児島には数多くの魅力が存在している。

イ 地域の伝統文化を体験することで、その土地に住む人々の伝統を守り未来へ残そうという思いを感じるができる。

ウ 地域で行われる奉仕活動に積極的に参加することで、さまざまな年代の人たちと交流を深めることができる。

エ 資料館を訪れることで、教科書には載っていない、地域の発展に力を尽くした先人の歴史を学ぶことができる。

③ 発表者は、自分の考えをわかりやすく伝えるために、どのような工夫をしてみましたか。これから読み上げるア～エの中に正しいものが一つあります。正しいものには、解答欄の「正」に○印を、誤っているものには、解答欄の「誤」に○印をつけなさい。なお、ア～エは繰り返し放送します。

ア 郷土の文化や歴史について、実体験をもとに感じたことを挙げながら、話をしていました。

イ 鹿児島県の特産品や自然について、新聞記事などの情報を紹介しながら、話をしていました。

ウ 鹿児島県の魅力について、さまざまな世代の人の意見を参考にしながら、話をしていました。

エ 先人たちの功績について、資料館や図書館で集めた資料を比べながら、話をしていました。



入試問題に

聞き取り問題

挑戦 4

スピーチ

放送文

女子中学生 これから私は、多くの人に鹿児島のことを知ってもらうために、「鹿児島の魅力伝える」というテーマでスピーチをします。

鹿児島の魅力として、私たちが真っ先に思いつくのは、黒豚や黒牛などといった特産品や、個性豊かな数々の自然の存在です。また、郷土の文化や歴史の中にも数多くの魅力があります。

では、私たちがこれらの魅力を伝えるためには、どのようなことが大切でしょうか。私は、鹿児島の魅力を伝えるために、何よりも私たち自身が郷土について深く知ることが大切だと考えました。なぜなら、自分自身の郷土を知らずに、その魅力を伝えることはできないと思うからです。そこで、中学生の私たちにできることとして、次の二点を挙げたいと思います。

まず、それぞれの地域に残る伝統文化を体験することです。毎年秋になると、私は地域で行われる踊りに参加しています。実際に参加してみると、地域に住んでいる人々の、伝統を守り未来へ残そうという思いや郷土に対する愛着を感じることが出来ます。地域の伝統文化を体験することは、それに携わる人たちの、伝統を継承しようとする意志や地域への愛着を、私たち自身が実感することにつながるのです。

次に、郷土が生んだ先人たちの歴史を学ぶということです。西郷隆盛さいこうたかもりや大久保利通おおくぼとしみちなど、明治維新で活躍した郷土の出身者については、私たちも教科書などでよく知っています。しかし、地域にある資料館を訪ねてみると、教科書には載っていない、その地域の発展に力を尽くした先人たちの存在に気付かされます。先人たちの功績を通して郷土の歴史を学ぶことは、私たちの生活が彼らの功績によって成り立っていることを知ることでもあるのです。

このように、地域の伝統文化を体験したり、郷土の先人たちの歴史を学んだりすることによって、私たちは、自分自身の郷土についてより深く知ることが出来ます。このことが、鹿児島の魅力を再発見することになり、ひいては多くの人に鹿児島のことを知ってもらうことにつながるのです。

これで私のスピーチを終わります。

(H 25 鹿児島)